

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	215	3年	後期	看護学科	必修	成人看護学慢性期実習 Clinical Practice in Adult Chronic Care Nursing	90	2
担当教員								
光井 綾子		高橋 博子		松井 美由紀				
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
慢性疾患とともに生きる患者および家族を全人的にとらえ、対象の健康課題に応じた看護を実践するための知識・技術・態度を習得する。								
到達目標（授業目標）								
1. 慢性疾患をもつ患者の健康状況を総合的に理解できる。								
2. 慢性的な健康障害をもつ患者とその家族のQOLの向上に向けて看護実践ができる。								
3. 社会資源の活用やその家族をささえる継続看護の必要性および保健医療チームの連携を理解できる。								
4. 看護専門職としての姿勢や態度を養うことができる。								
5. 実習全体を振り返り、今後の学習の方向性を明確にできる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								

授業概要	1. 実習場所：愛媛県立中央病院：内科系病棟および関連部署
	2. 実習期間：2週間 時間：8：30～16：30
	3. 実習展開：詳細は実習の手引きを参照

成績評価方法及び基準

実習評価表（100点）の到達度に基づき、評価する。60点以上を合格とする。

教科書 鈴木志津枝・藤田佐和「慢性期看護論」（ヌーヴェルヒロカワ）

参考図書等 中西純子・石川ふみよ「リハビリテーション看護論」（ヌーヴェルヒロカワ）、鈴木久美・旗持知恵子・佐藤直美「成人看護学慢性

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

実習期間を通して、受け持ち患者の疾患、治療、検査、看護について主体的に学習する。

関連科目

前科目	212	成人慢性期看護方法	210	成人看護対象論	156	臨床病態学Ⅰ(共)	157	臨床病態学Ⅱ(共)	233	健康教育論
後科目	242	看護アセスメントⅢ	249	総合実習						

実務家教員

看護師（医療機関）	光井 綾子	高橋 博子	松井 美由紀				

備考 実習メンバーで協力しながら、主体的に取り組むことを期待する。